

# 「第13回全日本ホルスタイン共進会まであと1年」

ホルスタイン全共岡山県出品対策協議会

来年10月に北海道安平町において第13回ホルスタイン全共が開催されます。本県においても、昨年11月に出品対策協議会を設立し、出品候補牛の掘り起こし等を進めて来たところです。今回は、現在までの協議会の取組状況や、現在建設が進められている全共会場の状況について紹介し、開催まで1年を切った本大会に向けて、ムードを盛り上げたいと思います。

## 【出品候補牛の巡回指導】

昨年の出品対策協議会設立後、おかやま酪農業協同組合の各事業所ごとに、地域推進班が組織され、各地域のホルスタイン改良同志会並びにジャージー改良同志会の役員を中心として、出品候補牛の掘り起こしが行われました。

そして地域推進班で作成したリストを基に、7月末～8月にかけて全県班（おからく、県、岡山種雄牛センター、同志会ほか）による巡回を行いました。今回の巡回では、最初の巡回であったことから、酪農家の方々もまだまだ本気モードといった感じではありませんでしたが、「本命牛」にはそれなりの飼育管理がされていることが見受けられました。

次回は11月～12月にかけての巡回を予定しており、巡回指導の間隔を短くしながら、徐々に候補牛を選定していくこととしています。

## 【出品技術の向上対策】

9月6日(日)に中国四国酪農大第1牧場において、バーンミーティングが開催されました。今回は、前日の蒜山地区乳牛共進会の審査で来日したマイク ウェスト氏(カナダシーメックス社 サイアーアナリスト)を講師に招き、出品牛の飼育管理や調教、リーディング等についての研修を受けました。

当日は、県下各地から約50名の参加者がありました。参加者からは育成牛の飼育管理や種雄牛の選定について熱心な質問があったほか、実際にリードして講師からのアドバイスを受けました。



リーディングの研修風景

## 【北海道ホルスタインナショナルショー】

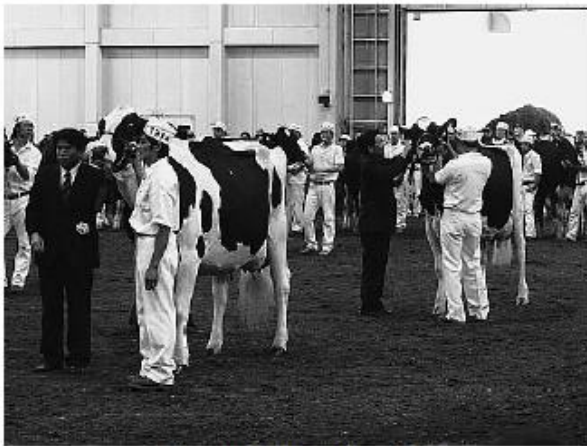
9月12～13日に北海道ホルスタインナショナルショーが開催されました。



審査風景を見る真剣な眼差し!!

今回は、来年の全共の会場となる安平町の北海道ホルスタイン農協家畜共進会場が整備中であるため、十勝農協連家畜共進会場(音更町)での開催でした。来年の全共の前哨戦となる大会であることから、本県からも来年の出

品を目指す多くの酪農家や関係者が会場を訪れ、北海道のレベルと本場の出品技術を目の当たりにしてきました。



グランドチャンピオン決定

出品された牛は、全体的に未経産牛では発育に優れ、充分な体高と幅と深みに富み、各部の移行の優れた牛が多く見受けられました。また、調教が良くされており、正確な歩様が印象的でした。

経産牛では、前乳房の付着が強く長さがあり、後乳房も高く付着しているうえに幅があり、中央靱帯が明瞭に現れている牛が目立ちました。また体全体の強さと泌乳能力の高さを予測できる質の良さを兼ね備えた乳用強健性に富んだ牛が数多く出品されておりました。

本県から会場を訪れた酪農家の方々も、高い牛群レベルを目の当たりにして、来年の全共に向けて、北海道に負けない牛づくりを心に誓い、帰路にたたれたのではないかと思います。

### 【全共会場の状況】

全共の本会場についても、来年10月の開催に向け着々と建設が進められていますので、現在の状況についてお知らせします。

全共の会場として準備が進められているのは、北海道ホルスタイン共進会場(勇払郡安平町)です。現在併設されていた北海道ホルスタイン農協のホルスタイン家畜市場をホクレン北海道家畜市場との共有という形で建設が進められています。完成は本年10月の予定で、11月から新施設での家畜市場の開設が予定されているということです。

完成後は、旧家畜市場が撤去され、舗装などの周辺工事が行われることとなっております。



建設中の家畜市場  
(左:購買牛舎、右:セリ場、事務所)



準備が進む共進会場(塗装工事中)

本県の乳牛改良のレベルの高さを大いにアピールできるよう、本大会に向けて酪農家、関係者が一丸となって研鑽を進めてまいりたいと思います。出品対策協議会といたしましても、さまざまな取組のなかで全共ムードを盛り上げていきたいと思いますので、皆様の御協力をお願いします。